

(様式2(1))

事業所名 グループホーム 令寿

作成日: 令和 8年 3月 22日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	23	・入居後のふとした時にお話しして下さる、ご入居者の思いや趣味、嗜好がある職員は知っていて、ある職員は知らないといった状況になっており、ケアプランにも落とし込めていない。	・ご入居者の思いや趣味、嗜好をせめて担当階の職員は共有していかなければならない。	・現在使用している別紙というファイルに、職員が聞き取ったご入居者の思いなどを書き込むことを周知する。その後、計画作成担当者が別紙から拾い上げケアプランに落とし込む。	12ヶ月
2	26	・ケアプラン更新毎のアセスメントシート見直しが出来ていない。 ・ケアプランの長期目標と短期目標がほとんど一緒になっている。	・アセスメント→介護計画→サービス担当者会議→モニタリング→アセスメントという流れを徹底する。	・2階3階の計画作成担当者共に、サイクルを意識する事で目標達成は可能と思われる。	6ヶ月
3	4	・令和7年は運営推進会議を3回開催しているが、約4月に1回という頻度の決まりが守れていないところがあった。	・令和8年は引き続き自己評価・外部評価の実施、それと運営推進会議約4月に1回を実施する。	・運営推進会議の開催月を4月、8月、12月と決めさせて頂く。	8ヶ月
4	35	・災害時訓練の報告書はあるが、職員回覧のサインがなかった。	・訓練時の報告書には職員の確認サインを徹底する。	・申し送りノートでの共有、管理者からの職員への直接伝達。	6ヶ月
5	8	・権利擁護に関する研修が出来ていない。	・入社時、それ以降も年に1回は研修の機会を設ける。	・現在活用している動画研修の年間計画に権利擁護の研修も入れる、カンファでの権利擁護に関する知識の共有。	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。